

# 福岡貿易会会員リレーエッセイ

高杉製薬株式会社  
代表取締役社長 高杉 義明 氏

## 「創業の原点からカナダ鉱山まで — 高杉製薬の挑戦」

### 【はじめに】

丸紅株式会社九州支社長の花田様からバトンを引き継ぎました、高杉製薬株式会社の高杉です。当社は貿易業務に直接携わってはいないのですが、執筆の機会をいただきました。まずは会社の自己紹介から始めたいと思います。

### 【高杉製薬の創業と初期の事業】

当社は、1929年に私の祖父高杉義照が福岡市(博多区)吉塚で創業しました。敷地面積 160 坪に工場、倉庫、自宅を配置した小さな町工場でした。人づてで久留米大病院、電信電話局、陸軍などを回り、自社製品の売り先を探し続ける日々であったようです。化学品問屋をお願いして原料を供給してくれるメーカーを探し求め、何とか北九州や大牟田の化学工場などから工業薬品を購入できるようになりました。

### 【現在の事業内容】

当社では、大手化学メーカーから基礎化学薬品を 10~20 トン単位で購入し、それを精製(高純度化)、希釈(濃度調整)、小分け(容量調整)し、様々な業界の工場、研究所、化学品問屋などに配送・納入しています。最近、インターネット経由で引合い・注文が増加し、海外に輸出する案件も徐々に増えています。

主な薬品は次亜塩素酸ナトリウム、希硫酸、苛性ソーダ、炭酸ナトリウム、硫酸ナトリウム、尿素、消毒用エタノール、精製水など。包装容量は 500ml から 1 トンまで、包装形態はポリ瓶、ポリ缶、ドラム、コンテナ、圧送タンクなど。品質規格は日本薬局方、JIS、食

品添加物、マネジメント規格は ISO9001、ISO14001、HALAL などがあります。

### 【化学工業の原料依存と塩化カリウムの製造】

貿易という観点では、日本の化学工業はその原料の多くを海外資源に依存しています。当社製品も元をたどれば海外から輸入された原料が出発点です。

一例として塩化カリウムをあげます。原料である固形塩化カリウムを精製水に溶かし加熱濃縮して結晶を析出させ、遠心分離・乾燥・粒度調整を行い、内装ポリエチレン外装クラフト紙の包材に充填します。

製品の主用途としてレアメタル抽出工程の反応助剤というものがあり、高純度と低水分が求められ、日本の「モノづくり」の強みが発揮された領域だったと思います。(残念ながら現在は当社では製造しておらず、他社に製造委託しています。)

### 【カナダ視察 ~ 原料産地の実態を訪ねて】

塩化カリウムの原料は主としてカナダから輸入されています。輸入商社のご好意で 2001 年 9 月、原料調査を目的とした視察旅行を実施しました。

カナダ中部サスカチュワン州の鉱山で原石を採掘し、隣接工場で製品化します。100 トンコンテナにバラ積みされた製品は、米国オレゴン州ポートランドまで鉄道輸送され、港湾施設で保管後、タンカーで日本へ輸出されます。私たちを受け入れてくれたのは塩化カリウムの輸出協同組合である CANPOTEX 社で、鉱山・工場・倉庫・港湾施設のいずれも巨大で見る者を圧倒する迫力がありました。

カナダ産塩化カリウム鉱石は含有量 40%